

稲村亜美がチーム訪問・直球対談! 「希望を持って明るく前を向いてほしい」



笑顔で
ポーズを決
める稲村亜
美と清水監
督

▼琉球ブルーオーシャンズ 2019年7月18日、沖縄初のプロ野球チームとして誕生した。チーム名は沖縄の果てしなく広がる青い海、そして沖縄から無限に広がる可能性への出発という意味を込めて命名。チームスローガンは「沖縄の地をリスペクトし、県民と共に歩み、共に繁栄する」。運営はスポーツマネジメント会社BASE＝北川智哉代表取締役社長。

沖縄初のプロ野球チームとして昨年誕生した琉球ブルーオーシャンズ。地域密着型のチームづくりに取り組んでおり、将来、NPBの1球団に推挙されるような球団を目指している。このほど「神スイング」で知られるタレント稲村亜美(24)がチームを訪問。ロッテ、DENAで活躍した清水直行監督(44)と対談し、球団設立の経緯から選手補強、来季の構想まで、笑顔で語り合った。

沖縄の地に魅力

稲村 優しくお願いします。清水監督は琉球ブルーオーシャンズの設立から関わっているのですか。

清水 話をいただいたのは昨年の夏から秋にかけてでした。その時は口ツテのコーチをしていたので、最初は自分が行くのは無理かなと思いま

した。P.Bの選手も多いですし、ただでなく、通年野球が見られることがいいですね。

稲村 そうなんです。ここからジャンプアップしてもう一度戻ってほしいなと思っています。

清水 そういふ考え方はニュージランドで学んだのですよね。

稲村 チームには元NPBの選手も多いですし、ただでなく、通年野球が見られることがいいですね。

清水 できれば何年後かには沖縄の地にリーグ戦ができるくらいチームができて、皆が定期的に沖縄で野球が観戦できるような環境がほしいな。

稲村 沖繩県民の皆さんは高校野球だったり、野球に対する情熱が凄いのですね。

清水 引退後何が凄いのですね、拡大する要素はあると思います。

稲村 沖繩県民の皆さんは高校野球だったり、野球に対する情熱が凄いのですね。

プロ野球選手のセカンドキャリアのために定期的な観戦ができるように、選手も獲得しました。この経験が今、生きがけました。

料理の世界へ ようこそ。

「才能はいらない。思いさえあれば」
大切なのは、技術だけじゃない
「食」のプロとして持つべき心構えとは？



料理人の
タマゴたちの
葛藤と成長を描く、
調理師専門
学校物語!

マンガでわかる 料理の仕事

監修 上神田梅雄 「漫画」桜こずえ 定価(本体1200円+税) 幻冬舎 GENTOSHA